

# ごみゅにけーしょん

Gommunication みんなに話したくなる みんなと始める 事業ごみ減量ニュースレター

## 資源ごみ, きちんと分別してますか?

缶・びん・ペットボトルなどは、燃やすごみと一緒に出すことはできません。京都市の調査によると、業者収集ごみに占めるこれら資源の割合は約5% (容積比)。1つのごみ袋に数本の缶・びん・ペットボトルが入っているという計算になります。

混ぜればごみ, 分ければ資源。“へらす” “わける” を進めましょう。

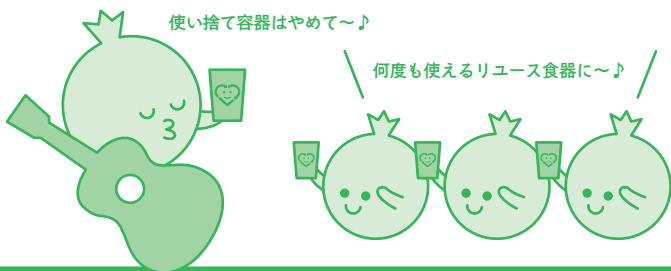
※データはH20.3 京都市環境局調査から



### “へらす” のツボ



マイボトルやマイカップを職場で使おう。



イベントなどでは、リユース食器を使おう。

### “わける” のツボ



分別しやすい資源ごみ置き場を作ろう。



回収は許可業者や資源回収業者に相談しよう。

※事業所から出る缶・びん・ペットボトルを廃棄物として処理する場合、産業廃棄物に当たりますので、契約などについて法律によるルールがあります。ここでは、分別・リサイクルの観点から、「資源ごみ」と表現しています。

### ごみ削減に役立つ豆知識

### ごみゅにけーしょん

## Q&A



◎ 使用済み天ぷら油から作られていないものはどれでしょう？

- ① 天ぷら油
- ② 飼料
- ③ バイオディーゼル燃料

※答えは裏面の下にあります。

### 京都環境事業協同組合から

事業ごみ収集のご相談は当組合まで。「京都市推奨事業系ごみ袋 (透明袋)」も販売しています!

★お客様相談窓口を開設しましたので、ぜひご利用ください!

相談窓口 Tel. 691-5517

【受付時間 月~金 13:00 ~ 17:00】



レポート

資源ごみの再資源化施設を見学してきました!

缶・びん・ペットボトルのリサイクル



事業所から出る資源ごみ、どこへいっているの?

資源ごみとして出された「缶・びん・ペットボトル」は、民間の再資源化施設に運ばれています。今回は、市内にある再資源化施設を見学して、資源ごみとして回収されたものがどのようにリサイクルされているのかを学んできました。

このように加工されています

資源ごみの袋、集められた後どうなっているの?

今回見学した施設では、資源ごみが入った袋を機械でやぶり中身をベルトコンベアに乗せて、「白(透明)びん・茶びん・色びん・ペットボトル」に手作業で選別します。缶は機械を使ってアルミ缶とスチール缶に分けます。分けられた資源ごみは、リサイクル原料として出荷できるよう加工されます。



圧縮された缶



砕かれたペットボトル

リサイクルされたら何になるの?



いろんなかたちでリサイクルされているよ!



異物は中に入れないで!

資源ごみとして回収されたペットボトルや空き缶。貴重な資源として活用するためには、きちんとルールを守ることが大切です。回収

されたものの中には、異物が入っているルール違反もあるそうで、お話を伺った工場長さんは「たばこの吸い殻やスプレー缶などを入れるのは絶対にやめてください。」と、注意を促されていました。火災や事故のもととなる異物をなくすことは、私たちが心がけなければいけない大切なことですね。



異物は入れちゃダメ!



分別収集の契約をしていますか?

資源ごみも、燃やすごみと分けて回収されなければリサイクルできません。許可業者や資源回収業者と分別回収の契約をして、“へらす”“わかる”を実践しましょう。



とびくす

許可業者従業員研修会を開催しました!

京都市と京都環境事業協同組合の共催で、一般廃棄物収集運搬業許可業者の従業員を対象に研修会を開催しました。毎日事業ごみの収集を担当しておられる、いわば廃棄物のプロである従業員の皆さん。今回は、具体的なごみの例などを挙げながら、班に分かれて議論しました。廃棄物処理の最前線で働いておられる皆さんだけあって、議論は白熱。事業ごみとして収集できないものの判断や対応などについて知識や理解を深めていただきました。



コラム

京の知恵

京都の伝統文化に育まれた知恵を、次代を担う文化人がコラムにてご紹介!

真箏 (芸妓・シンガー)

江戸末期に始まったと言われている花街、祇園。その町並みは、できるだけ当時の風情を大切にするため、祇園の南側と新橋通は建物に規制があります。時代の流れとともに、一歩中に踏み入れるとお洒落なレストランがあったり、新しくも外観は昔どおりで古き善きを存続させてはります。私が舞妓さんに出た頃よく耳にしたフレーズは「もったいない」という言葉。そのお陰で体重が急増したこともありましたが(笑)そして、数年前から環境について考えるようになり、気づいたことの数々、よく見渡すと、京都の文化の中にたくさんのエコがありました。洗った手を拭くのに、ペーパータオルを使わずマイ手ぬぐいを使ったり、使い捨ての包装紙でなく風呂敷を活用したり。着物も傷んでしまうと鞆に仕立て直しちょっとした小物に変身。さらに、先輩から大切にしてくられた舞の衣装や簪(かんざし)を頂戴することも多々。使い捨てがあたりまえになってしまった世の中で、受け継ぐということの一つとして、伝統や芸だけではなく“物”を大事にしていくというありがたさも学ばせていただいていると思います。何気なく見渡せば、物を大切に思う気持ちがここにはあります。いらぬ物やごみを道にポイと捨てられたさまを見て、誰もうれしくはないはず。物へのありがたみを忘れずに、感謝の気持ちを持って過ごしていきたいものですね。



真箏(まこと) プロフィール: 16歳で祇園の舞妓「真箏」となり、現在、祇園甲部芸妓。アーティスト「MAKOTO」として歌手活動も行う。FM京都α-Station DJ (Sweet'n Marble Lovers 毎週木曜日 21:00~22:00の後半担当) 京都市若者会議U35委員。

ごみゅにけーしょん Q&Aの答え: ①天ぷら油

使用済み天ぷら油は、飼料・バイオディーゼルの燃料・石鹸などにリサイクルされています。いろいろなものにリサイクルできる大切な資源、少しでも多く活用していきたいですね。

次号は、使用済み天ぷら油がどうなっているかわかるよ。

